

こどもの人権ってなんだろう？ ～地域で求められる人権意識～

- ・ 開催日: 令和 8 年(2026 年)6 月 24 日 (水)
- ・ 場 所: ほしらんどくだまつ
- ・ 講 師: 松田 洋子 氏 (人権擁護委員)

- ・ 子どもたちが直面している人権課題は、虐待やDV、過度な世話をになるヤングケアラー、そして、SNS 上のデジタル暴力など多岐にわたる。
- ・ 地域の大人は、これらの「見えない SOS に気づき、指導ではなく共感をもって接する「ゲートキーパー」としての役割が期待されている。

こどもの権利

すべてのこどもが一人の人間として最大限に尊重され、生命・自由の確保と幸福を追求する、生まれながらにもつかけがえのない権利。

課題とリスク

小6の約15人に1人がヤングケアラー

- ・ 当たり前と感じ、周囲に助けを求めない。
- ・ 自らの人生設計に大きな影響を及ぼしている。

多様性への理解とアンコンシャスバイアス

- ・ 自覚のない差別や排除を生み出している
- ・ SOGIESC (性的指向、性自認、性表現、身体的性)

ネットいじめやオンライングルーミング

- ・ デジタルタトゥー
- ・ 個人情報の拡散、ネットヘイト
- ・ SNS の悪意ある誘い

虐待、面前DV

- ・ 不安・自責・葛藤・不信・混乱・秘密・孤立
- ・ 自尊心や自己肯定感、思いやる心の未成熟、知的未発達など、将来にわたる心身の成長に深刻な影響

地域の大人の役割

ゲートキーパー

- ・ 異変に気づき、声をかけ、話を聞いて専門機関につなぐ。



「指導」ではなく「理解と共感」

- ・ 子どもを受けとめ、子どもに寄り添うことが、子どもの生きる力を支える。

エンパワーメントを高める

- ・ 暴力を許さない風土と体制の整備
- ・ 職場や地域全体でハラスメントを排除

虐待の4つの分類

身体的虐待	殴る・蹴る、部屋に閉じ込める、戸外への締め出しなど
性的虐待	無理やり体を触る、ポルノを見せる、画像の流出など
ネグレクト	長時間の放置、食事の著しい減食、必要な医療を受けさせないなど
心理的虐待	怒鳴る、無視する、存在否定、きょうだい間差別、面前DVなど